

「反人身取引デー」

6月5日は2008年に「反人新取引法」が施行された日で、タイでは「反人身取引デー」として毎年イベントを行い、タイ政府が人身取引に取り組む姿勢を広くアピールしています。

今年も UNODC の Blue Heart キャンペーン (<http://www.unodc.org/blueheart/>) のロゴを使用し、国際キャンペーンの一部というのを強調していたようです。当初首相のスピーチがある予定でしたが、多忙のためか当日は社会開発人間保障省の大臣が主なスピーカーでした。それでも大臣、副大臣、次官、副次官も出席されており、この課題に取り組むというタイ政府としての意気込みが感じられる催しでした。

会場には展示ブースが設置されることで、JICA もブースを頂けたの



ですが、お知らせを頂いたのはわずか1日半前のことでした！ このイベントを担当していたのは同じ省ですが National Operation Center on Prevention and Suppression of Human Trafficking (NOCHT) という別の部署だったため、情報の入手に時間がかかりました。同じ省でも部署が違えば情報が手に入りづらいことが少なくないのです。



そんな訳で、実質的にはわずか1日の準備期間でしたので、相当バタバタして、超特急で、自前で展示物を作る羽目になりました。見栄えが悪くかえってマイナスの印象を与えるのではない

かと心配したのですが、当日の朝にはすばらしい展示ブースができあがっていました。私たち専門家は前日の夕方会場の下見に行っただけで、実際の飾りつけは全部プロジェクトスタッフに任せていたので、当日朝、完成したブースを見てその素晴らしさに感動し、前夜遅くまで頑張ったスタッフを誇りに思いました。ブースにはたくさんの参加者が訪れて下さり、プロジェクトの広報を効果的にすることができました。

当日のプログラムは華やかなもので、関係機関による討論のほか、有名な俳優による司会、人気の演歌歌手や子どもタレントによるダンスなどのパフォーマンスもありました。参加者は400人強で、各国大使館、国際機関からの招待者をはじめ、社会開発人間安全保障省、警察、労働省、国際、国内 NGO などでした。日本大使館からも稲垣一等書記官が出席されました。この後も、フアランポン駅や地方でも4箇所、市民向けのキャンペーンや展示会を行うそうです。